様式－４Ａ②－１（建築用）

考査項目別運用表

［記入方法］　該当する項目に１を入れる。

（建築・検査員用）

考査項目	細別	該当	評価	a	a′	b	b′	c	d	e
				特に優れている。	優れている。	特に良好である。	良好である。	適切である。	やや不適切である。	不適切である。
３.出来形及び出来ばえ	Ⅱ．品質			「評価対象項目」					評価	評価
				□ 材料・製品の品質が、製作図等により確認でき、設計図書を満足していることが確認できる。					□ 品質の管理に関して、工事監督員が文書で指示を行い改善された。	□ 品質が不適切であったため、工事請負契約約款第31条に基づく修補指示を検査員が行った。
				□ 施工の各段階における完了時の試験及び記録の方法が、適切であることが確認できる。						
				□ 材料の品質確認記録の内容が、適切であることが確認できる。						
				□ 品質の確認結果が、分りやすく整理されていることが確認できる。					上記該当事項があれば…・d	上記該当事項があれば…・e
				□ 施工の品質が適切であり、設計図書を満足していることが確認できる。						
				□ 建具、ﾕﾆｯﾄ等の性能及び機能に関する確認方法が適切であり、記録の内容が設計図書を満足していることが確認できる。						
				□ 躯体工事における施工の品質が、施工記録等により確認でき、良好であることが確認できる。						
				□ 内外仕上げ工事における施工の品質が、施工記録等により確認でき、良好であることが確認できる。						
				□ その他の工事（躯体・内外仕上げを除く）における施工の品質が、施工記録等により確認でき、良好であることが確認できる。						
				□ 不可視部分となる品質が、工事写真、施工記録により確認できる。						
				□ その他（理由：　　）						
				該当項目の内達成項目が９０％以上・・・・・・・・・・a						
				該当項目の内達成項目が８０％以上～９０％未満・・・a′						
				該当項目の内達成項目が７０％以上～８０％未満・・・b						
				該当項目の内達成項目が６０％以上～７０％未満・・・b′						
		評価率		該当項目の内達成項目が５０％以上～６０％未満・・・c						
		評 定		該当項目の内達成項目が５０％未満・・・・・・・・・・d						
		点　数		※評価対象項目が２項目以下の場合はｃ評価とする。						

※1．目的物の品質の水準を評価すること。

※2．品質の対象は「材料、機材」と「施工の完了したもの（ｼｽﾃﾑを含む）」があり、工事目的物の品質及び品質管理に関する各種の記録と設計図書を対比することにより技術的な評価を行う。

様式－４Ａ③-1（建築用）

考査項目別運用表

[記入方法]　該当する項目に１を入れる。

（建築・検査員用）

考査項目	細別	該当	評価	a	b	c	d
				全体的な完成度が優れている。	全体的な完成度が良好である。	全体的な完成度が適切である。	全体的な完成度が劣っている。
３.出来形及び出来ばえ	Ⅲ．出来ばえ			「評価対象項目」			評価
				□ きめ細やかな施工がなされ、取り合いの納まりや端部まで仕上がりが良い。			□ 出来ばえが劣っている。
				□ 関連工事（工種）又は既存部分との調整がなされ、調和が良い仕上がりである。			
				□ 使い勝手や使用者の安全に対する配慮に優れている。			
				□ 仕上がりの状態が良好で、作動状態も良好である。			上記該当事項があれば…・d
				□ 色調が均一であり、色むら等が無く、全体的な美観が良好である。			
				□ 材料・製品の割付や通り等が良く、全体的な出来ばえが良好である。			
				□ 保全に配慮した施工がなされている。			
				□ その他（理由：　　）			
				該当項目の内達成項目が９０％以上・・・・・・・・・・・a			
		評価率		該当項目の内達成項目が８０％以上～９０％未満・・・・b			
		評　定		該当項目の内達成項目が８０％未満・・・・・・・・・・・c			
		点　数		※評価対象項目が２項目以下の場合はｃ評価とする。			

※1．全体的な仕上がり状態、機能を評価する。

※2．出来ばえの評価は、全体的な仕上がり状態、形状、配置及び関連工事との調和、目的物としての機能などについて、観察、計測等により技術的な評価を行う。